

1 しごとづくり

本県最大の強みであるモノづくり産業の高度化・高付加価値化を図るとともに、全国有数の産出額を誇る農林水産業の競争力を高めることなどにより、日本の「産業首都」としての中核性をさらに高め、質の高い「しごと」を創出する。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標値(2020年(度))
県内総生産の全国シェア	7.0% (2003～2012年度の平均) 7.3% (2012年度)	7.3% (2013年度)	7.5%
製造品出荷額等の全国シェア	13.6% (2004～2013年の平均) 14.4% (2013年)	14.4% (2014年)	14.5%
輸出額の全国シェア	18.7% (2005～2014年の平均) 20.1% (2014年)	20.3%	21.0%
農林水産業(第一次産業)県内総生産の全国シェア	3.2% (2003～2012年度の平均) 3.1% (2012年度)	3.1% (2013年度)	3.5%
就業者数	383万人 (2005～2014年の平均) 391万人 (2014年)	389万人	年390万人程度を維持
1人当たり県民所得	国を19%上回る (2003～2012年度の平均) 国を25%上回る (2012年度)	国を25.5%上回る (2013年度)	全国平均を25%上回る

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標（KPI）の達成状況】

(1) 次世代産業の振興

①次世代自動車の普及促進

- 旅客・貨物運送事業者や中小企業等の次世代自動車導入経費を補助（2015年度：120台）
- 電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）・燃料電池自動車（FCV）に対する自動車税の課税免除（2015年度：3,057台）。燃料電池フォークリフト導入支援（2016年度新規）
- 水素ステーションを整備・運営する事業者に対する補助を実施（2015年度：13件）
- 「自動車安全技術プロジェクトチーム」によるプローブ情報の交通安全対策への活用等。15市町で自動走行実証実験の実施（高精度3Dマップの作成等）（2016年度新規）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
EV・PHVの普及台数(累計)	10,530台	13,571台	42,000台
水素ステーションの整備数(累計)	13基	17基	40基
充電インフラの整備基数(累計)	1,171基	1,655基	1,600基
自動走行・自動車安全技術実証実験	3件	4件	5年間で20件

②航空宇宙産業の育成

- 国際戦略総合特区に基づく規制の特例措置や税制等の支援措置の活用
- 県営名古屋空港及び周辺での民間航空機生産・整備拠点の整備（駐機場、駐機場進入路等）
- 生産技術者養成研修・現場技能職実技研修・現場技能職基礎知識講座・工業高校生等向けセミナーの開催（2015年度：563人日受講）
- 中小企業の航空機部品製造認証取得支援
- 「あいち航空ミュージアム」（2017年度オープン予定）に係る施設設計、展示コンテンツ基本設計、「愛知県名古屋飛行場等見学者受入拠点施設展示物整備基金」の設置（2015年10月）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
航空宇宙産業における品質認証取得件数(累計)	130件	150件	140件
中部地域の航空宇宙産業の生産高(年間)	0.83兆円(2013年)	0.95兆円(2014年)	1.18兆円
航空宇宙産業の人材育成研修受講者数(累計)	—	—	12,000人日
見学者受入拠点施設来場者数(年間)	—	※2017年度オープン	35万人

③ロボット産業の育成

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核とした開発・実用化、普及の促進
- リハビリ遠隔医療支援システム及びリハビリ支援ロボットの実証支援（2016年度新規）
- 国立長寿医療研究センター内における「あいちサービスロボット実用化支援センター」の設置・運営（2015年8月開設）
- 県立大学におけるロボット研究拠点の構築（次世代ロボット研究所施設：2016年4月開設）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
ロボット製造業の製造品出荷額等国内シェア	21.9% (2013年)	21.7% (2014年)	30%
サービスロボット実用化支援・相談対応件数(年間)	—	131件	100件

④健康長寿産業の育成

- あいち健康長寿産業クラスター推進協議会の運営
- メディカル・デバイス産業振興協議会（事務局：名古屋商工会議所）への参画
- 医療機器の展示商談会「メディカルメッセ」の開催（2016年2月：136社、3,538名参加）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等とのマッチング件数(年間)	67件	98件	70件

⑤環境・新エネルギー産業の育成

- 知の拠点あいちにおける「新エネルギー実証研究エリア」の運営（2015年度：実証企業3社採択）
- 「愛知県新エネルギー産業協議会」における各種研究会の開催
- スーパークラスタープログラム（先端ナノツールによるエネルギー・イノベーション・クラスター）の実施（2015年度：7大学、6研究機関、延べ48企業が参画）
- 資源循環推進センターによる総合的な支援、先導的な循環ビジネスに係るセミナー・見学会の開催（2015年度：セミナー・見学会各2回）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
新エネルギーに関する共同研究件数	—	2件	5年間で10件

⑥コンテンツ、デザイン等の都市型産業の育成

- 知の拠点あいちの「あいち産業科学技術総合センター」内「産業デザイントライアルコア」における、産業デザインに関する相談、三次元造形装置などの機器を用いた試作、情報提供
- 「あいちベンチャーハウス」でのインキュベーターマネージャーによるITベンチャー企業支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
あいちベンチャーハウス入居企業のうち成長率(売上高前年度比増加率10%以上)を達成した企業の割合	53.1% (2010～2014年度平均)	54.5%	50%以上
ITスキル向上研修等参加者数(年間)	—	146人	100人
知財相談件数(年間)	3,374件	3,641件	3,000件以上

(2) 研究開発機能の強化

- 「あいち産業科学技術総合センター」での依頼試験や技術相談、試作・評価による企業の製品開発支援、共同研究の実施、研究成果の情報発信
- 「知の拠点あいち」における「シンクロトロン光センター」の運営・機能強化支援
- 重点研究プロジェクトの実施（Ⅰ期（2011～2015年度）：80件の技術、試作品・製品を実現、うち28件が製品化・事業化、Ⅱ期（2016～2018年度））

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
あいちシンクロトロン光センターの利用件数	1,235件 (2013～2014年度平均)	1,618件	5年間で7,000件

(3) 中小・小規模企業の振興

①新規事業展開、販路開拓への支援

- 経営革新計画の申請窓口を商工会・商工会議所等に広げ、中小企業の新たな取組を支援
- （公財）あいち産業振興機構によるワンストップ支援、愛知よろず支援拠点の運営（2015年度：セミナー88回、相談会39回開催）、豊橋サテライトの開設（2016年5月開設）
- 「あいち中小企業応援ファンド」による新事業展開に対する助成

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
経営革新計画の承認件数	202件	242件	5年間で1,500件
ワンストップ支援窓口の利用件数	4,635件 (2011～2014年度平均)	6,672件	5年間で25,000件
中小企業の製造品出荷額等シェア	8.5% (県12兆158億円/ 全国140兆6,304億円)	8.6% (県12兆5,651億円/ 全国145兆9,524億円)	10%

②事業承継、業態転換への支援

- 名古屋商工会議所に設置された「愛知県事業引継ぎ支援センター」との連携による中小企業の引継ぎ支援
- あいち産業振興機構等と連携した事業承継に関するセミナーの開催（2016年3月：80名参加）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
事業承継に係る認定件数	—	—	5年間50件

③海外展開の支援

- 「あいち国際ビジネスセンター」における相談対応、貿易実務講座や海外展開・国際ビジネスに関するセミナーの開催（2015年度：115回）
- （公財）あいち産業振興機構による金融、法務、海外販路拡大支援
- （独）日本貿易振興機構（ジェトロ）との覚書に基づく連携事業の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
あいち国際ビジネスセンターの利用件数(年間)	977件	764件	800件
海外拠点における相談件数(年間)	159件 (2010～2014年度平均)	339件	250件

(4) 創業支援

- 「創業プラザあいち」における創業準備を支援（2015年度：相談件数2,018件）、セミナーの開催（同：12回延べ183名参加）、講座開催（同：50回延べ800名参加）、メッセナゴヤ等での出展支援（同：4社）、有望ビジネスマッチング交流会（同：12社123名参加）
- 制度融資（創業等支援資金）の対象者及び限度額の拡充（2015年度）、日本政策金融公庫との協調推進枠を新設（2016年度）
- クラウドファンディングを活用するプロジェクト発掘・事業化（2015年度：発掘件数：17件、うち事業化：9件）、普及啓発のための説明会・フォーラムの開催（同6回）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
創業プラザあいちにおける創業件数	14件	20件	5年間で75件
あいちベンチャーハウス入居企業のうち成長率(売上高前年度比増加率10%以上)を達成した企業の割合【再掲】	53.1% (2010～2014年度平均)	54.5%	50%以上

(5) サービス産業の支援施策の充実

- 経営革新計画の申請窓口を商工会・商工会議所等に広げ、サービス産業を営む中小企業の新たな取組を支援

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
サービス産業の経営革新計画の認定件数	97件	98件	5年間で600件

(6) 海外とのパートナーシップの構築

- 江蘇省、ベトナムとの経済交流、現地に設置したサポートデスクによる進出企業支援
- タイ・バンコク都との交流の推進、広域連携による農林水産物の輸出促進、バンコク産業情報センターでの情報提供、タイ王国工業省との交流の推進
- インドとの交流の推進、現地に設置(2016年1月)したサポートデスクによる進出企業支援
- 韓国・京畿道との相互協力に関する覚書の締結(2015年11月)
- アメリカ・テキサス州との友好交流及び相互協力に関する覚書の締結(2016年4月)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
交流事業の実施件数	8件	18件	5年間で40件

(7) 産業人材の育成

①モノづくりなど産業を支える人材の育成

- 県立愛知総合工科高等学校の開校(2016年4月)、名古屋工業大学・愛知工業大学との連携協定の締結(2016年4月)、専攻科の公設民営化に向けた準備(2016年度)
- 2019年度技能五輪全国大会の基本計画の策定(2016年度)、2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県開催を国に提案・要請
- 小・中学校、特別支援学校への技能五輪・アビリンピックメダリスト等の派遣(2015年度:50校)及びモノづくり体験講座の開催、中小企業若手技能者競技大会の開催
- 建設業の担い手の確保・育成のための研修の実施や研修マニュアルの策定(2016年度新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
高校生の技能検定合格者数(年間)	642人(2013年度)	763人(2014年度)	800人
技能検定合格者数(年間)	7,846人	7,930人	8,500人
普通課程の普通職業訓練修了者の就職率(年間)	95%	100%	95%
認定職業訓練生数(年間)	23,137人(2013年度)	22,138人	25,000人
建設業技術者・技能労働者新規雇用者数	2,057人	1,691人	5年間で11,500人

②グローバル人材の育成

- あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業における人材の育成及び取組成果の普及(ハブスクール指定12校)、イングリッシュキャンプ in あいちの実施(2015年度:3回238名参加)
- 愛知県立大学における「グローバル人材プログラム」の実施、留学生の派遣、受入の充実、多言語学習センター(iCoToBa)の運用

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
ハブスクールを中心とした地区別授業研修(年間)	2回	2回	2回
愛知県立大学英米学科卒業生のうちTOEICで800点以上獲得した者の割合	43.7%	42.0%	2016年度に70%

(8) 農林水産業の振興

①農林水産業の市場拡大

- 愛知県6次産業化サポートセンターにおける相談や研修会、交流、商談会の実施
- あいちの農林水産物(名古屋コーチン、花、抹茶、小麦「きぬあかり」、あさり、うなぎ等)のブランド力強化に向けた試食会等のPRイベント等の実施(2016年度新規)
- 県産農林水産物の展示会・商談会の開催(2015年度:シンガポール・バンコク)
- 「いいともあいち運動」ネットワーク会員や推進店の登録数の拡大(2015年度末:会員数1,352会員、推進店999店)、地場産物を取り入れた「学校給食献立コンクール」等の開催
- 「あいち認証材」の普及・啓発、県産木材を利用した住宅建設への支援
- 全国都市緑化あいちフェア併催イベント「あいち花の交流ひろば」の開催(2015年9月12日～11月8日)、フラワーバレンタインプロモーション等の展開

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
愛知県が行う6次産業化への支援件数	227件	195件	5年間で1,135件

②生産性の高い農林水産業の展開

- ICTを活用した先端技術(あいち型植物工場)導入の際の経費補助(2016年度新規)
- 農地中間管理機構への運営支援(2015年度:新たに担い手へ集積された面積273ha)
- 高性能林業機械の導入支援など低コスト木材生産システムの開発・普及、少花粉スギの苗木安定供給、新規事業者が伐採や植栽等を実施する際の経費補助(2016年度新規)
- 水産種苗生産・放流及び栽培漁業の推進、漁業者の資源管理の取組への指導、総合的なうなぎ資源保護の取組、漁業調査船「海幸丸」の更新(2016年新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
県農林水産関係試験研究機関において民間企業等と実施する共同研究数	8件	12件	5年間で40件

③農林水産業の担い手の確保・育成

- 「農起業支援センター」における、就農希望者・企業の相談や生産技術指導による支援（2015年度：延べ相談件数 個人 868 件、企業等 30 件）、青年就農給付金による支援、女性農業者の活躍支援
- 愛知県林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター等と連携した就業相談
- 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同活動への支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
新規就農者、新規林業就業者、及び新規漁業就業者数の合計(年間)	271人 (2010～2014年度平均)	288人	285人

④鳥獣被害対策等の推進

- 農林水産物への被害を防止する取組を行う市町村や地域協議会への支援、市町村被害防止計画の策定支援（計画策定市町村：29市町村）
- 第二種特定鳥獣管理計画の策定（2015年5月）・推進
- NPOや民間事業者との共同による県産ジビエのPR、ジビエ・グルメ・グランプリの開催、県産ジビエの販路拡大と消費拡大の情報を発信する関係者のネットワーク組織の形成（2016年度新規）
- 外来種対策研修会の開催、専門家派遣による指導助言、侵略的外来種に関する調査実施（2016年度新規）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
鳥獣被害対策実施隊等の捕獲リーダー数	39人	164人	68人

2 魅力づくり

“Heart” of JAPAN をキャッチワードに、強みである Technology (技術) と Tradition (伝統) を生かして、本県の魅力を国内外に発信し、多くの人々が訪れ、滞在してもらえる地域をつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標値 (2020年(度))
来県者数	3,551 万人 (2012~2014 年の平均) 3,817 万人 (2014 年)	4,247 万人 (暫定値)	5,000 万人
観光消費額	6,263 億円 (2012~2014 年の平均) 7,270 億円 (2014 年)	7,813 億円 (暫定値)	1 兆円
愛知県を訪れる観光客の満足度	82.9% (2012~2014 年の平均) 80.1% (2014 年度)	79.4% (暫定値)	90%

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況】

(1) 地域ブランドの構築と効果的な情報発信

- 産業観光施設を巡るスタンプラリー (2015 年度施設訪問者数: 9,610 人)、バスモニターツアーの実施
- 「東海合戦ワールド」等の武将観光イベントの開催、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」の結成 (2015 年 7 月)
- 「なごやめし普及促進協議会」の立ち上げ (2015 年 6 月)、ミラノ万博での試食等の実施
- ぽぷかるイベント開催 (2015 年度: 約 19,500 人参加)、世界コスプレサミットの開催支援
- 伊勢志摩サミットを契機とした各国大使、海外メディアへの PR (セントレアでの MR J の展示や FCV の活用、県内視察ツアーの実施等)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
観光入込客数 (年間)	1 億 544 万人	1 億 405 万人 (暫定値)	1 億 3,000 万人
観光消費額 (年間) 【再掲】	7,270 億円	7,813 億円 (暫定値)	1 兆円

(2) 広域観光の推進

- 昇龍道日本銘酒街道推進会議の取組推進、産業観光・武将観光の推進
- 東海地区外国人観光客誘致促進協議会と連携した旅行会社・メディア招請
- 中部広域観光推進協議会・昇龍道プロジェクト推進協議会と連携したインドネシアでの観光説明会・商談会・交流会の開催 (現地旅行会社 35 社 76 名参加)
- 岐阜県と連携した産業観光・武将観光施設を巡るバスモニターツアーの実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
昇龍道 9 県の外国人宿泊者数 (年間)	447 万人泊	750 万人泊	600 万人泊
中部国際空港旅客数 (年間)	990 万人 国際線: 450 万人 国内線: 540 万人	1,042 万人 国際線: 490 万人 国内線: 552 万人	1,500 万人 国際線: 800 万人 (うち訪日外国人 400 万人) 国内線: 700 万人
観光入込客数 (年間) 【再掲】	1 億 544 万人	1 億 405 万人 (暫定値)	1 億 3,000 万人

(3) MICE の誘致

- 「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」の設立 (2015 年 4 月)、MICE 見本市 IIME への出展 (2015 年 12 月)、「あいち国際会議開催補助金」の創設 (2015 年度)
- 「“Heart” of JAPAN~Technology&Tradition」を掲げた海外 MICE プロモーションの展開
- 常滑市の空港島における大規模展示場の整備 (2019 年秋頃開業予定) に向けた調査の実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
国際会議の開催件数 (年間)	154 件 (2013 年)	179 件 (2014 年)	200 件 (2020 年)

(4) スポーツ大会を活用した地域振興

- 「第 20 回アジア競技大会」の招致の取組 (2016 年 5 月名古屋市と共同で立候補表明、JOC への開催構想提出、7 月招致委員会設立)
- 「ラグビーワールドカップ 2019 愛知・豊田開催支援委員会」設立 (2015 年 8 月)
- 「FIFA フットサルワールドカップ 2020」の FIFA 国際サッカー連盟への招致活動
- 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」などのスポーツ大会のさらなる育成

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
ラグビーワールドカップ 2019 の観戦者数 (県内会場での 1 試合平均)	—	(2019 年開催)	3 万人
FIFA フットサルワールドカップ 2020 の招致	—	—	2020 年開催
FIFA フットサルワールドカップ 2020 の観戦者数 (県内会場での 1 試合平均)	—	(2020 年開催)	3,000 人
「名古屋ウィメンズマラソン」の県外・海外からの出場者数	12,649 人	14,487 人	15,000 人

(5) 文化芸術の創造・発信

- あいちトリエンナーレ 2016 (2016 年 8 月 11 日~10 月 23 日) 開催に向けた準備
- 国民文化祭・あいち 2016 (2016 年 10 月 29 日~12 月 3 日)、全国障害者芸術・文化祭あいち大会 (2016 年 12 月 3 日~12 月 11 日) の開催に向けた準備
- 芸術文化センターでの舞台芸術や美術展や、陶磁美術館における文化芸術体験プログラムの実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
愛知芸術文化センター入場者数 (年間)	194 万人 (2010~2014 年度平均)	184.7 万人	200 万人
県陶磁美術館来館者数 (年間)	10.3 万人 (2010~2014 年度平均)	9.2 万人	10.5 万人

(6) 受入態勢及び観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成

- 外国人旅行客向けガイドマップの作成、県紹介 PR 映像・広報誌の作成
- 観光施設や宿泊施設における公衆無線 LAN 整備に対する補助 (2015 年度: 23 施設)
- ムスリム観光客の受入環境整備のためのセミナー開催 (2015 年度: 64 名参加)、先進事例調査
- 「産業観光あなびと育成研修会」の実施による観光ボランティアガイドの育成 (2015 年度: 14 団体 45 名参加)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
観光入込客数 (年間) 【再掲】	1 億 544 万人	1 億 405 万人 (暫定値)	1 億 3,000 万人
観光消費額 (年間) 【再掲】	7,270 億円	7,813 億円 (暫定値)	1 兆円

次世代の成長分野など魅力ある企業の集積や、大学の活性化を図ることなどにより、若年者を中心とした東京圏への人口流出の流れに歯止めをかけるとともに、国内外から愛知に人を呼び込む流れをつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標値(2020年(度))
県外との転出入者数	12,603人(1990～2010年の平均)	17,219人	5年間で65,000人の転入超
労働力人口の全国シェア	6.0%(2005～2014年の平均) 6.1%(2014年)	6.1%	6.2%

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

(1) 企業誘致

①産業立地の支援

- 「産業空洞化対策減税基金」を原資とした企業立地・研究開発・実証実験への支援(2015年度:研究開発・実証実験78件、21世紀高度先端産業立地補助金4件、新あいち創造産業立地補助金46件)
- 次世代分野をターゲットとした戦略的企業誘致活動(航空宇宙関連企業が指定された区域内の土地・家屋を取得する際の不動産取得税の減免:2015年度 減額16件、免除2件)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
次世代成長産業等の企業立地件数	6件	22件	5年間で40件

②外資系企業の誘致

- 外資系企業向け貸オフィスの活用、ジェトロへの研修生派遣、ジェトロとの「包括的業務協定に関する覚書」に基づく連携事業の推進

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
外国企業の誘致件数	7件	8件	5年間で35件

(2) 大学等の活性化

①大学等の資源を生かした地域連携の促進

- 県内大学と県教育委員会の連携、大学教員による高校生向け講座「あいちの大学『学び』フォーラム」の実施。
- 愛知県立大学サテライトキャンパス等における一般向け学術講演会・公開講座等の実施、愛知県立芸術大学サテライトギャラリー等における展覧会、演奏会の開催

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
県内大学(理工系学部等)及びあいち産業科学技術総合センターにおける共同研究数(年間)	1,287件	1,287件(2014年)	1,300件
愛知県立大学による一般向け学術講演会及び公開講座の開催件数(年間)	8企画(2010～2014年度平均)	18企画	10企画(2018年度)

②大学等と連携した県内企業への就職支援

- 大学生等向け合同企業説明会の開催(2015年度:19回、714社、1521名参加)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
県内企業と県内学生とのマッチング数(年間)	5,608人	5,715人	6,000人

(3) 移住・定住の促進

①地方移住希望者への支援体制

- 「愛知県交流居住センター」を核とした交流イベントの実施
- 「愛知県地域しごと支援センター」を設置し(2015年9月)、UIJターン希望者に対し、しごとと暮らしに関する情報を一元的に提供するとともに、県内企業とのマッチングを実施。
- 「三河の山里サポートデスク」を設置し(2016年1月)、都市住民との交流イベントの開催、交流移住マッチング事業の実施、交流移住情報の受発信、交流移住促進のための取組をする集落の支援

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
地域しごと支援センターの利用件数(年間)	—	1,377人	3,000人
三河の山里サポートデスク登録者数(累計)	27人	28人	100人

②UIJターン希望者と県内企業のマッチング支援

- 「愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し(2015年12月)、県内中小企業が抱える経営課題等を解決するプロフェッショナル人材ニーズの発掘とマッチングをサポート
- 県内中小企業と県外(都市部)の大企業等で実績のある高度産業人材(30～50代)とのマッチングの促進
- 首都圏等の若者と県内企業を結びつけるためのミニ面接会・愛知ブランド企業面接会の実施(2015年度:7回)、首都圏での合同企業説明会の開催(同:4回)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
30～50代の県外人材への支援件数(年間)	—	1件	50件
東京でのUIJターン合同企業説明会参加者数(年間)	—	75人	600人

(4) 海外からの人材獲得

- 大学院レベルの技術系の留学生をアジア諸国から受け入れ、学費等の奨学金を支給（2015年度：10名受入）
- 留学生インターンシップ（2015年度：留学生62人、企業32社）の実施、留学生向け企業見学ツアー等の開催、留学生向け合同企業説明会への協力

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数（年間）	665人	665人（2014年）	700人

(5) 人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化

- 名古屋駅のスーパーターミナル化の推進に向けた調査の実施、名古屋駅周辺まちづくり構想に基づく取組の促進
- 名鉄三河線の複線化等による豊田市方面への速達化に向けた輸送需要調査、鉄道高架事業の推進
- 広域道路網（新東名高速道路（2016年2月供用）、新名神高速道路、三遠南信自動車道、東海環状自動車道の整備促進、東海北陸自動車道の4車線化）の事業推進
- 中部国際空港における二本目滑走路（完全24時間化）を始めとする機能強化の実現に向けた国への働きかけ
- 名古屋港の機能強化等の実施、三河港及び衣浦港に係る港湾施設の整備

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
中部国際空港旅客数（年間）【再掲】	990万人 国際線：450万人 国内線：540万人	1,042万人 国際線：490万人 国内線：552万人	1,500万人 国際線：800万人 （うち訪日外国人400万人） 国内線：700万人
2015年度までに新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT）の供用開始	—	2016年2月13日 供用開始	2015年度
2018年度までに三遠南信自動車道（東栄IC～佐久間IC）の供用開始	—	—	2018年度

4 結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代の経済的安定を図り、地域社会全体での子育てを支援する環境を整備していくことなどにより、結婚の意思を持つ若者の希望をかなえていくとともに、夫婦が希望する時期に安心して出産・子育てができるような環境をつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標値(2020年(度))
合計特殊出生率	1.46	1.49	1.8(2030年)
若者(25~44歳)の完全失業者数	64,000人(2005~2014年の平均) 51,000人(2014年)	46,000人	50,000人以下
女性(25~44歳)の労働力率	67.4%(2005~2014年の平均) 70.1%(2014年)	70.9%	73.1%以上

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

(1) 若者の経済的安定

① キャリア教育の推進

- キャリア教育ノートを活用した小・中・高校を通じた体系的・系統的なキャリア教育の実施
- 県立高等学校(全日制)でのインターンシップ等の実施
- キャリア教育コーディネーターを活用した効果的なキャリア教育の実施(2016年度新規)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
県立高等学校におけるインターンシップに参加した生徒数(年間)	10,899人(2013年度)	12,704人	18,000人

② 若者の就労支援

- 国と連携して運営する「ヤング・ジョブ・あいち」における就職相談から職業紹介までのワンストップ支援
- 市町村と連携した若年者就職相談窓口の開設、職場見学・体験会の実施(2015年度:40社141名参加)、魅力発信セミナーの開催(同:6回54名参加)、就職に向けたガイドパンフレット作成
- 正規社員として働くメリットや労働関係法令を記載したリーフレットを作成し、若者に配布

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
ヤング・ジョブ・あいちの利用者の就職者数(年間)	5,468人 (2012~2014年の平均値)	6,157人	毎年度過去3年間 平均値5%増
大学・短期大学卒業予定者の就職内定率	96.5%	96.9%	97.0%

(2) 結婚・出産・子育ての支援

① 結婚サポートの実施

- 「婚活協力団体」(22団体)、「出会い応援団」(30団体)の登録、結婚支援ウェブシステム構築(2016年2月:「あいこんナビ」サイトリニューアル)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
出会いの場を提供するイベント実施数(年間)	180回	183回	350回

② 妊娠・出産支援

- 女性に対する健康教室や健康相談の実施、企業と大学と連携した健康教育の実施
- 不妊専門相談や公開講座の実施、不妊治療(体外受精・顕微授精・人工授精)費への助成(2015年度:体外受精・顕微授精6,062件、人工授精3,797件)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
学校等と連携して妊孕力(にんようりょく)(妊娠する力)に関する健康教育を実施している市町村の数	—	7市町村 (2015.3.31現在)	全市町村

③ 周産期医療体制の充実

- 分娩を取り扱う医師等への手当に対する助成(2015年度:65件)、大学への周産期医療学寄附講座設置(名古屋大学・藤田保健衛生大学)
- 総合及び地域周産期母子医療センターの運営助成(2015年度:13施設)、救命救急センターの併設促進

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
周産期死亡率(出産1,000件に対する周産期死亡数)	3.9(2013年)	3.5(2014年)	2010~2013年の平均値である3.9以下
産婦人科・産科の医師数	652人(2012年度)	692人(2014年度)	増加

④ 地域における子ども・子育て支援

- はぐみんカードの普及拡大及び協賛店舗の登録拡大(2015年度:新規協賛店363店)
- 保育所や認定こども園、幼稚園等で実施される一時預かりへの助成(2015年度:516か所)、市町村が実施する子育て支援拠点事業(同:330か所)や利用者支援事業への補助
- 母子・父子家庭高等職業訓練促進資金貸付事業、児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施(2016年度新規)
- 子ども貧困対策検討会議の立ち上げ(2016年6月)、愛知こども調査の実施(2016年度新規)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
子育て家庭優待事業登録店舗数	9,493店舗	8,576店舗	10,000店舗
養育支援訪問事業実施市町村数	35市町村(2013年度)	37市町村	全市町村
地域の子育て支援サービスなどを円滑に利用できるようサポートする利用者支援事業の実施市町村数	2市	11市	44市町村

⑤保育サービスの充実

- 幼児教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所）への施設型教育・保育給付（2015年度：認定こども園50か所、幼稚園7か所、保育所521か所）
- 家庭的保育（保育ママ）、小規模保育等への地域型保育給付（2015年度：家庭的保育31か所、小規模保育95か所、事業所内保育3か所）
- 低年齢児の年度途中入所の保育需要に対応するため配置基準を超えて保育士を配置する市町村や1歳児に対する保育士の配置を基準よりも充実する市町村に対する補助
- 病院・保育所等に付設された専用スペースでの病児・病後児預かりへの助成（2015年度：55か所）、休日保育や延長保育に対する助成（延長保育：標準時間427か所、短時間192か所）、ファミリー・サポート・センターを活用した医療機関連携型の病児・病後児預かりモデル事業の実施（弥富市）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
保育所の待機児童数	107人	165人	解消
病児・病後児保育の実施箇所数	60か所	66か所	86か所
延長保育の実施箇所数	856か所	935か所	990か所
休日保育の実施箇所数	54か所	55か所	59か所
事業所内保育の実施箇所数	213か所	225か所	増加

⑥放課後児童対策の充実

- 放課後児童クラブ整備及び運営費への助成拡充（2015年度：整備助成9か所、運営費等助成1,263か所）
- 認定資格研修（2015年度：受講者647名）、資質向上研修（同：受講者465名）の実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
放課後児童クラブの待機児童数	458人	786人	解消
放課後児童クラブの登録児童数	41,174人	46,569人	52,004人
放課後児童クラブ児童の放課後子ども教室等教育プログラムへの参加	37.1%	37.2%	全ての小学校区で実施

⑦子育て世帯の経済的負担の軽減

- 第三子以降の3歳未満児の保育料を無料化又は軽減する市町村に対する補助
- 私立幼稚園等における第三子以降の満3歳児の授業料の無償化に対する補助

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
第三子以降の子どもの満3歳到達年度末までの保育料の無料化・軽減に対する補助	実施	実施	継続実施
私立幼稚園等における第三子以降の満3歳児の授業料等無料化に対する補助	実施	実施	継続実施

③女性の活躍促進

- 女性の活躍促進宣言の募集（2015年度までの累計：232社）、「あいち女性輝きカンパニー」の認証（同：72社）、中小企業に対する奨励金の支給（2015年度：24社）
- 女性の活躍促進サミット2015の開催（2015年10月）、「あいち女性の活躍促進応援サイト」の開設（2015年9月）
- 「あいち・ウーマノミクス研究会」で女性の活躍を通じた産業の創出や生産性向上、人材の育成・確保促進等に関する研究の実施
- あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）の運営（2015年度の相談等件数：546件）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
女性の活躍促進宣言企業数（累計）	166社	232社	1,000社
あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）の利用件数（年間）	419件	546件	500件
20代女性の首都圏への転出超過数（年間）	1,528人	1,601人	1,400人

④ワーク・ライフ・バランスの推進

- 県内一斉ノー残業デーや有給休暇取得等を呼びかける「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の実施
- 「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」の登録制度を運営し、専用WEBサイトで登録企業の取組を紹介（登録企業：2015年度までの累計1,185社）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
ファミリー・フレンドリー企業の登録企業数	1,129企業	56企業増	毎年60企業増
年次有給休暇取得日数	8.2日	8.4日	10日
労働時間の短縮に向けた取組を実施している企業の割合	50.3%	48.2%	55%

5 暮らしの安心を支える環境づくり

本格的な長寿社会を迎える中、高齢者がそれぞれの地域で健康で安心して暮らせる環境をつくとともに、年齢や男女、障害の有無や国籍に関わらず、誰もが社会の支え手として活躍できる社会をつくる。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標値(2020年(度))
健康寿命	男 71.74 年 [全国 1 位] 女 74.93 年 [全国 3 位] (2010 年)	男性 71.65 年 [全国 12 位] 女性 74.65 年 [全国 18 位] (2013 年)	男 75 年以上 [全国 1 位] 女 80 年以上 [全国 1 位] (2022 年)
労働力率	62.7% 1994 年:67.5%⇒2004 年:64.0% ⇒2014 年:62.7%	62.0%	62.0%

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況】

(1) 健康長寿の推進、医療・介護・福祉の充実

①健康づくりの支援

- 保健師や歯科衛生士等の資質向上研修や健康づくりリーダーの育成研修の実施
- 地域間の健康格差縮小をめざした医療圏ごとの研修や出前講座、広報啓発活動の実施
- 特定健診等普及啓発強化月間(6月)における普及啓発(大規模小売店舗のレシートに健診受診の勧奨PR文を掲載等)
- 「栄養改善プログラム」、「運動器の機能向上プログラム」等の普及推進
- 店舗等と連携した健康情報の発信を行う健康づくりチャレンジ推進事業の実施(2016年度新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
健康づくりリーダーの養成数(年間)	2,231 人(2011 年度)	2,639 人	3,024 人以上
健康格差(地域や社会経済状況の違いによる健康状態の差)の把握に努める市町村の数	12 市町村(2011 年度)	31 市町村	46 市町村

②地域医療の確保

- 健康福祉部内に「愛知県地域医療支援センター」を設置し(2015年4月)、女性医師等の就労支援や若手医師の育成等の医師確保対策を実施
- 新人看護職員研修への支援、看護職カムバック研修の開催、看護師の無料職業紹介等を行うナースセンター事業の実施(2015年7月:ウインクあいちにサテライト設置)、県立学校での看護師の養成

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
在宅療養支援診療所数(累計)	726 か所	745 か所	857 か所

③地域包括ケアシステムの構築

- 3か年(2014年度~)のモデル事業の実施(安城市はじめ6市)及び報告会の実施、団地モデル事業の実施(春日井市高蔵寺ニュータウン)(2016年度新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる市町村数	—	17 か所	全市町村

(2) 全員活躍社会づくり

①高齢者の就労・社会参加の促進

- 中高年齢離職者再就職セミナーの開催、企業向け高齢者雇用推進セミナーの開催
- シニア予備軍(主に50代)向け社会参加促進ガイドブックの作成・シンポジウムの開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
高齢者(65歳以上)の労働力率(年平均)	23.8%	23.9%	1ポイント以上改善

②障害者の就労促進

- 特別支援学校における就労支援の充実(就労アドバイザーを拠点校2校に各1名配置)
- 障害者の就労を支援する専門家の養成(研修終了者37人)
- 精神・発達障害者や企業向けのセミナーの開催や面接会の開催、障害者ワークフェアの開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率	36.7%	39.9%	50%
民間企業における障害者の法定雇用率達成	1.74%	1.81%	2.0%

(3) 多文化共生の推進

- 公立学校における日本語教育適応学級担当教員の配置(2015年度:415名)、公立小中学校への語学相談員の配置・訪問指導(対象児童生徒:1,055名)、県立高校への支援員派遣による学習活動や学校生活支援(対象生徒:245名)
- 外国人児童生徒等による日本語スピーチコンテストの開催(2015年11月:77名)
- 日本語学習支援基金を活用した外国人の子どもへの学習支援(2015年度:日本語教室74教室、外国人学校6校、日本語ボランティア養成87名)
- 「あいち医療通訳システム」の運用、外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応促進憲章の普及、災害時の多言語支援センター設置に向けた体制整備

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
外国人の子どものプレスクール実施市町村数	15 市町	15 市町	増加

(4) 地域防災の担い手確保

- 防災・減災カレッジの開講による防災リーダーの育成
- 家具固定ボランティアの養成、民間事業等とタイアップした転倒防止対策、防災教育センターを改修し、家具固定器具の展示や取付講習を実施（2016年度新規）
- あいち消防団応援の店制度の導入、消防団一日入団体験の実施、学生消防団活動認証制度の普及、消防団加入促進事業費補助金の創設（2016年度新規）
- 「消防団カレッジフェスティバル」の開催など、学生への消防団加入促進活動の実施

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
地域防災リーダー育成（防災・減災カレッジ 地域防災コース受講者数）（年間）	68人 (2012～2014年度の平均)	92人	90人
学生消防団員数（累計）	274人	295人	330人

(5) 行政とNPO等との連携、協働

- NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催、行政の意見交換会の実施
- 社会人ボランティア「プロボノ」養成事業の実施
- NPO向けボランティア活用講座の実施、ボランティアのNPOへの派遣、活動報告会等の実施（2016年度新規）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
協働ルールブック・評価実践シートによる評価点の平均	86.2点	87.5点	88.3点以上（100点換算）

6 活力ある地域づくり

地域資源を生かした個性や魅力にあふれる地域をつくとともに、県内主要都市の機能集積や周辺地域との連携を図ることなどにより、各地域が活力を維持し、県内のバランスある発展を実現する。

【数値目標の達成状況】

目標項目	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標値(2020年(度))
1人当たり県民所得	国を19%上回る(2003~2012年度の平均) 国を25%上回る(2012年度)	国を25.5%(2013年度)	全国平均を25%上回る
三河山間地域、離島及び周辺地域の観光客数	【三河山間地域】 620万人(2013年) 【離島及び周辺地域】 1,277万人(2013年)	【三河山間地域】 751万人(暫定値) 【離島及び周辺地域】 1,297万人(暫定値)	【三河山間地域】 年間650万人 【離島及び周辺地域】 年間1,341万人
三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数	154人(2014年)	160人	5年間で800人

【主な施策の実施状況と重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

(1) 三河山間地域、三河湾の島々及び周辺地域の振興

①暮らしの安心を支える環境の整備

- へき地医療拠点病院・診療所への助成(2015年度:10医療機関)、へき地医療確保看護修学資金の創設・貸与(2015年度:4人)
- バス運行対策事業による支援、過疎バス路線維持事業による支援
- 国道257、国道420号、国道153号伊勢神改良等の整備
- 「へき地・複式教育研究協議会」「へき地指導者研究協議会」開催、スクールバス運営補助

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
代診医等派遣要請に係る充足率	97.5%	99.2%	100%
三河山間地域のバスの路線数	36路線	36路線	現状維持

②小規模高齢化集落の維持・活性化

- 交流移住マッチング事業の実施、情報の受発信、移住促進のための取組をする集落の支援
- 三河の山里サポートデスクによる都市住民との交流イベントの開催
- 過疎バス路線維持事業による支援(37路線)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
三河の山里サポートデスク登録者数(累計)【再掲】	27人	28人	100人

③交流居住の促進

- 「愛知県交流居住センター」との連携による交流イベント、住宅・農地等の情報の提供等
- グリーンツーリズム、ベイツーリズムのモデルルートの開発・情報発信
- 首都圏広域プロモーション「あいちの山里ぐらし相談会 in 東京」出展等

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
あいちの山里暮らし相談会参加者数	—	168人	5年間で1,000人

④多彩な地域資源を生かした観光による地域の活性化

- 「山里の魅力創造社」による山里の暮らしや魅力の情報発信
- 三遠南信自動車道の整備促進に向けた国への要望、主要幹線道路の整備推進
- キャンペーン動画・PR誌等の作成、宝さがしイベント等を開催することにより、あいちの離島及び周辺地域の情報を一体的に発信

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
三河山間地域の観光客数(年間)	620万人(2013年)	751万人(暫定値)	650万人
離島及び周辺地域の観光客数(年間)	1,277万人(2013年)	1,297万人(暫定値)	1,341万人

⑤地域の特性を生かした農林水産業の振興

- 低コスト木材生産システムの開発・普及、循環型林業の推進(2016年度新規)
- 就農希望者・企業の相談や生産技術指導、青年就農給付金による支援、中高年を対象とした農業講座の開催、女性農業者の活躍支援
- 鳥獣被害対策を行う市町村等への支援、県産ジビエのPR、ジビエ・グルメ・グランプリの開催、ジビエの販路拡大と消費拡大の情報を発信する関係者のネットワーク組織の形成(2016年度新規)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
三河山間地域及び離島の主要な産直施設の年間販売金額	12.3億円(2013年度)	12.6億円	13億円

(2) 東三河地域における産業人材の確保

- 東三河地域での学生インターンシップの実施(夏休み・春休みに実施。18名参加)
- 東三河企業訪問ツアーの実施(2回)

重要業績評価指標(KPI)	総合戦略策定時(2014年(度))	現状値(2015年(度))	目標(2020年(度))
東三河地域企業のインターンシップ受入可能企業数(年間)	37社	85社	45社
東三河地域企業へのUIJターン就職希望者数(年間)	—	—	25人

(3) 持続可能で活力あるまちづくり

①集約型まちづくりの推進

- 区画整理事業や市街地再開発事業、都市再生整備計画事業の促進
- 歩道、道路照明・標識等の整備、事故危険箇所対策の推進、歩行空間のバリアフリー化
- あいち集約型まちづくりモデル検討、都市計画区域マスタープラン検討
- 市町村における空き家相談体制の整備促進

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
都市計画区域マスタープランの改定	—	—	マスタープラン改定
立地適正化計画策定市町村	—	—	5年間で5市町村

②商店街の活性化

- 「あいち商店街活性化プラン 2016-2020」策定、げんき商店街推進事業費補助金制度・商業振興事業費補助金制度による商店街活性化に向けた取組支援
- 商店街と大学、地域住民、NPOなどの地域・商店街を応援する多様な主体との連携を促進するため、マッチング支援を実施 (2016年度新規)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
商店街の活性化成功事例	—	—	5年間で25件
主な商店街のうち、通行量の改善した商店街の割合	—	—	各年度60%

③公共交通ネットワークの維持・充実

- 「あいち公共交通ビジョン (仮称)」の策定 (2016年度新規)
- 名鉄三河線複線化等による豊田市方面への速達化に向けた調査の実施、鉄道高架事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
2016年度までにあいち公共交通ビジョン (仮称) を策定	—	—	2016年度策定
地域公共交通網形成計画の策定市町村数	6市町村	12市町村	16市町村

④ICTの利活用による地域活性化

- 観光施設や宿泊施設における公衆無線LAN整備に対する補助
- 市町村が整備する在宅医療連携システムへの支援
- 鳥獣被害対策におけるICTの利活用支援、ニホンジカ等による森林被害の軽減化技術の確立

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
在宅医療連携システム導入市区町村数	—	16区市	全市区町村 (2017年度)
授業中にICTを活用して指導できる教員の割合	63.7%	64.9% (2015年3月1日現在)	80%

⑤持続可能なエネルギー社会の構築

- 知の拠点あいちにおける「新エネルギー実証研究エリア」の運営、「愛知県新エネルギー産業協議会」における各種研究会の開催
- 「産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会」における推進方策の検討や技術支援
- 下水汚泥の消化によるバイオガスのエネルギー利用開始に向けた整備 (豊川浄化センター・矢作川浄化センター) (2016年度供用予定)
- 豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト等、県内における先進的な取組成果の普及促進、建築物環境性能総合評価システム (CASBEE あいち) の普及

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
住宅用太陽光発電の普及基数 (累計)	12.4万基 (普及率4.3%)	15.3万基 (普及率5.4%)	40万基 (普及率約14%)
2016年度までに下水汚泥の消化によるバイオガスのエネルギー利用開始 (豊川浄化センター、矢作川浄化センター)	—	—	2016年度供用

⑥「環境首都あいち」を支える担い手の育成

- AELネット (愛知県環境学習施設等連絡協議会) 環境学習スタンプラリーの開催 (延べ62,884名参加)、エコアクション推進フェアの開催 (2015年11月)
- 愛知万博10周年記念「インタープリター愛・地球ミーティング」の開催 (2015年10月: 関連事業含め約52,500名参加)
- 企業の環境課題に対し、学生研究員が解決策を提案し、発信する「人づくり」事業の実施 (かがやけ☆あいちサステイナ研究所)
- ユネスコスクール支援会議の開催 (2015年度: 3回)、ESD活動・研修の促進、ユネスコスクール交流会の開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
環境面における持続可能な地域づくりのリーダーとなる大学生数 (年間)	—	20人	20人以上

⑦地産地消の推進や都市と農山漁村との交流等を通じた活力ある地域づくり

- 「いいともあいち運動」ネットワーク会員や推進店の登録数拡大 (ネットワーク会員数: 2015年度末現在1,352会員、推進店: 999店舗)、農林水産フェア開催 (2015年11月)
- 関係者と連携した「あいち認証材」の普及・啓発、県産木材を利用した住宅建設への支援
- グリーンツーリズム・ベイツーリズムのモデルルートの開発・情報発信

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2015年(度))	目標 (2020年(度))
愛知県が行う6次産業化への支援件数【再掲】	227件	195件	5年間で1,135件
三河山間地域における中高連携を通じた交流事業数	3件	3件	増加

⑧公共施設等の適切な維持・管理

- 県有施設利活用最適化推進会議の設置・開催、施設類型ごとの長寿命化計画（個別施設計画）の策定
- 有料道路コンセッション方式の導入（2016年度：事業者選定、契約、実施）
- PFI手法による豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業、愛知県環境調査センター・愛知県衛生研究所整備等事業の推進、愛知県警察運転免許試験場整備等事業の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
個別施設計画を策定	—	9施設類型について策定済	2020年度
民間事業者による有料道路の管理運営を実現	—	—	2016年度中

（4）地域間連携・広域連携の促進

- 尾三地区における事務の共同処理や公共施設の相互利用などの連携の可能性に関する調査
- 東三河振興ビジョンの推進、「元気な愛知の市町村づくり補助金」を活用した支援
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議等への参画を通じた取組推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
東三河広域連合に対する支援事業数	—	1事業	5年間で5事業

（5）地域の自主性・独自性の発揮

①地方分権改革の推進

- 国から地方への事務・権限移譲や義務付け・枠付けの見直し等について国へ要請
- 地方分権・道州制セミナーの開催（2015年度：2回、321名参加）、出前分権講座教室の開催

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
国から地方への事務・権限の移譲や義務付け・枠付けの見直し等を提案し、5年間で5件の実現	—	5件（うち2件実現）	5年間で5件

②地方税財源の充実強化

- 地方法人特別税及び地方法人税の廃止と地方税への復元を国に対して要請
- 地方一般財源総額を増額確保するとともに、臨時財政対策債を速やかに廃止するため、国税の法定率引上げ等による地方交付税総額を増額などを国に対して要請

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
毎年2回以上国へ要請し、地方法人特別税・譲与税の早期撤廃をはじめ、地方税財源の充実強化を実現	—	要請活動3回実施	毎年2回以上国へ要請。地方税財源の充実強化を実現

③国家戦略特区の指定を踏まえた展開

- 特区制度を活用した具体的な取組を国家戦略特別区域計画に位置づけ
- 新たな規制緩和を国に提案（外国人雇用特区、有料道路コンセッションに係る運営権対価一時金の活用）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2015年（度））	目標（2020年（度））
国家戦略特別区域計画に位置づけられた事業数	—	16事業	5年間で11事業以上